

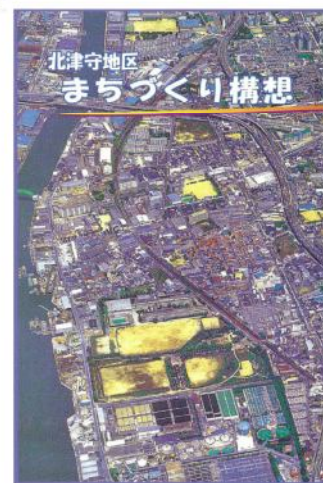
北津守まちづくり構想

北津守まちづくり構想は「大阪市まちづくり活動支援制度」適用の第1号

北津守まちづくり構想は、「大阪市まちづくり活動支援制度」の適用の第1号です。この制度は1997年12月に設置されたもので、「事業手法としてはっきりしていないまちづくりの初期の段階において住民等が自発的に、身近なまちづくりを行うため、街づくり構想の策定を目的としてまちづくりを推進しようという団体」を対象としています。まちづくりアドバイザーが派遣され、まちづくりの方向性が見えてくると、専門家が派遣されるというものです。「北津守地区整備構想」に続き、「今宮駅前整備構想策定委員会」がまちづくり委員会のもとで、長橋の地元の皆さんの参加で、設置され、支援制度の適用を申請しています。

西成地区街づくり委員会の動き

1996年 5月	「西成総合計画」策定
96年 6月	’96年西成地区街づくり委員会総会開催
96年 11月	’96年西成地区街づくり研究集会開催 「大阪市総合計画21」に基づいて未来に輝く人間都市—人間のまち、都市（まち）の再生、西成の発展をコンセプトとする「西成地区総合計画」が策定
1997年 1月	市同和对策推進協議会の意見具申
3月	地域街づくり懇談会開催(長橋、松之実、北津守)
4月	西成地区街づくり委員会と大阪市助役との懇談会
5月	まちづくり情報交換会開始
5月	第1回北津守地区構想策定部会 ・未事業用地の現況について ・北津守地区の箇所別の課題
6月	情報化推進方策検討会議開催
7月	’97年西成地区街づくり委員会総会開催
10月	西成地区まちづくり委員会委員の初会合
10月	建替モデル提案作品展、まちづくり学習会
10月	今宮駅前北開地区整備構想検討会開始
11月	まちづくり委員会と大阪市の意見交換会の開催
1998年 3月	’98年西成まちづくり研究集会開催



北津守地区まちづくり構想検討会

北津守まちづくり構想は、住民参加の事業や制度、さらに住民の方々と意見交換を行い、街づくりを進めていきました。

●街づくり懇談会（96年11月から、毎月最終の週の水曜日に開催。98年1月に終了）

目的：住民参加のまちづくりを進めてくため、西成地区内で進められているまちづくり事業や制度について学び意見交換する。

成果：「道路」「公園」「住宅」「鉄道」「福祉」「子育て」「情報化」「防災」「文化」など幅広いテーマで計11回開催し、いろいろな角度から街づくりについて学ぶことができた。

●地域街づくり懇談会

目的：西成地区の街づくり計画について、地区ごとに住民の方々と意見交換を行い、今後のまちづくりについてみんなで考える。

成果：地区ごとの違った問題点が浮き彫りにされ、住民の方々から出された質問については、主なものを取りまとめ、参加者へ回答を行った。

街づくり懇談会



地域街づくり懇談会



地域街づくり懇談会では公園、住宅、まちづくり、道路、バスなどについて様々な意見・質問が住民から寄せられ、それに対して構想策定委員が回答しています。また構想策定委員は、実際に現地をウォッチングし、まちづくりの問題点等を抽出し、構想策定に活かしています。

「北津守の地域街づくり懇談会」（1997年3月）で、次のような質問が地域住民から寄せられました。そして「第31期西成支部第4回ブロック別集会」（1997年5月19日～24日）では「北津守ブロック」として、こうした意見を集約して討論が進められました。

地域まちづくり懇談会(北津守)

と き：1997年3月7日・3月13日
と ころ：北津守老人いこいの家

●公 園

- ✓ 北津守の1丁目の東公園は、死角が多くなっており、以前は子どもも公園で遊んでいたけれども、今は遊びにくい。いろいろな人が憩えるような、花も緑もいっぱい公園づくりをめざしてほしい
- ✓ 北津守地区は空き地がいっぱいあるので、公園をもっと拡大して、駐車場を地下に造るとかできないでしょうか
- ✓ 公園のベンチに手すりを付けてほしい。また老人が立ち座りしやすいようなベンチを工夫してほしい
- ✓ 西成公園を子どもたちが使える公園にしてほしい

●住 宅

- ✓ 住宅を建てたら活性化になると思う。住宅を建てたら経済が発展する。大阪書籍の跡地に家を建ててもらって、古い家を潰してもらいたい。

- ✓ 住宅は若い者が住んでこそ街の発展につながります。住宅に入るには、色々な手続き、例えば組合に入る必要があるなどと聞きますけれど、どのような手続きで入居できるかというようなことを教えてほしい。

●市有地

- ✓ たくさん空き地があるが、現在金網を張っている。あれは大阪市が計画もなく、ただ、土地を買っているだけなのか。何も建たないのか

●街づくり

- ✓ 北津守の全体的な構想のなかで、西成農園を具体的に考え研究し、お互いの知恵を絞り合っ、これからの課題としてやっていけば話し合いがうまくいくのではないかと
- ✓ 昔は工場が多かった。工場を誘致してほしい。工場ができると人が集まり活性化にもつながり経済的な効果もある。
- ✓ 地図に計画の構築物を明示してほしい

●バス

- ✓ 北津守は1つだけのバス路線や本数の少ない南海汐見橋線というような不便な交通環境や住宅の老朽化によって人口減少している。大阪市の交通機関である大阪市営バスを、現在の状態から減らさないようにしてほしい。住民が気軽に遊びに行けるような形の交通機関、街づくりという意味合いの中で便利になったなと思えるようにしてもらいたい
- ✓ 北津守は阿倍野や区役所に行くには、車に乗れない人には便利が悪い。もともと阿倍野行きバスが近くにあって、雨が降った時に浪速区のバス亭まで行く必要がある。検討してほしい

●道路

- ✓ 高速の下の横断歩道に段差が20センチくらいある。段差をなくしてほしい。
- ✓ 高速下の歩道が狭く、10年以上前から提案しているが、いまだに解決していない。

構想策定委員による北津守まちづくりウォッチング

- 「北津守地区まちづくり構想」を検討していく上で、街づくりの現状と課題を探るため、構想策定委員のメンバーが北津守地区内を歩きまわり、問題点を抽出しています。
- 実際に現地をみることにより、街づくりの問題点が明らかになり、構想策定に役立ちました。

図. 北津守まちづくりウォッチング



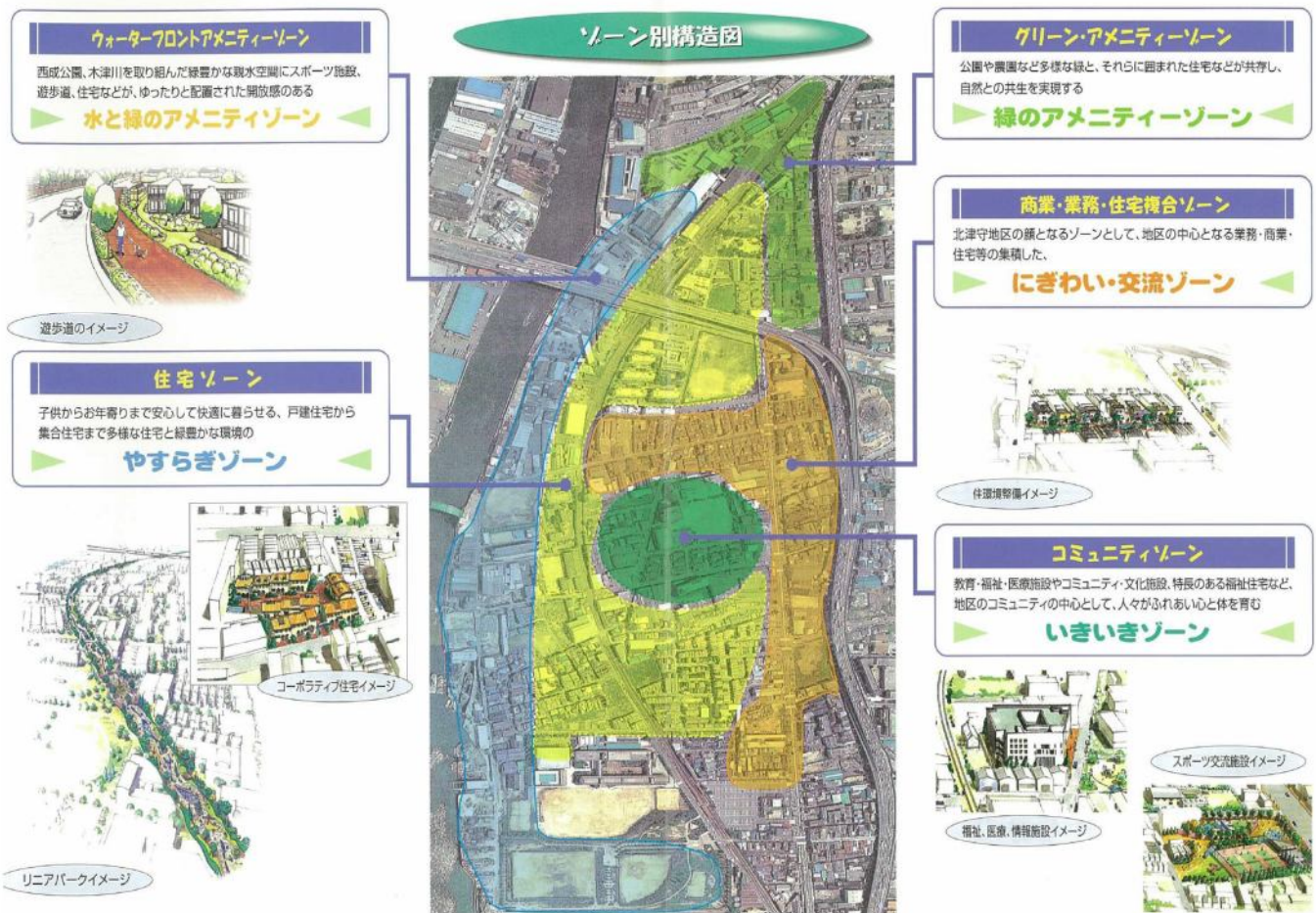
こうして策定された構想の「まちづくりの目標」は
“自然と共生する、うるおい豊かな人間都市”

基本方針は

- ✦ 自然を身近に感じられる、緑豊かな住環境
- ✦ 環境共生の視点に立った商工業
- ✦ 緑と花の道のネットワーク
- ✦ やすらぎを感じられる教育・福祉・医療の環境

まちづくり構想では5つのゾーン別構想が示されるとともに、自動車用動線、歩行ルートを併せた道路ネットワークが構想されています。

図. まちづくり構想・ゾーン別構造図



出典：北津守地区 まちづくり構想
 : 西成支部第 32 回大会<議案書>
 : 西成まちづくり研究集会'98 討議資料

発行：北津守地区まちづくり構想検討会
 発行日：1998年3月7日
 発行：西成地区街づくり委員会